

## 行政・住民合同研修:「パネルディスカッション」の概要票

テ ー マ	町並み保存継承活動のこれから
趣 旨 と 進 め 方	本協議会は、日本の各地域の気候風土に対応し、日本の住まいとして数百年の検証を経て維持されてきた伝統的建築である町家(民家)を保全・再生し、次世代に受け継いでゆくために、各地域の活動の成果を共有し、協働することで、より実効性のあるものにするために全国的な連携を強めている。そこで、このパネルディスカッションでは先駆的に取組んでいる行政、住民団体、建築技術集団等の活動報告を受けて、町並み保存・継承の各地の抱えている諸課題の解決にむけて、全国における連携を強めながら各地域で積極的に取組むべきポイント等について話し合う。

日時	会場	講師等の氏名	講師等の所属	プロフィール
5 月 1 6 日 (水) 1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 5 0	おり な す 八 女  大 ホ ー ル	コーディネータ <small>にしやま のりあき</small> 西山徳明	北海道大学 観光学高等研究セ ンター教授	1961年(S36年)福岡市生まれ。京都大学工学研究科大学院修了。博士(工学)。専門は、建築・都市計画、文化遺産マネジメント、ツーリズム。自治体や文化庁の文化財関係の審議委員等を務めながら、世界遺産を含む国内外の遺産の保護と観光開発の持続可能な関係づくりについて研究中。
		コメンテーター <small>のむら こうじ</small> 野村 興兒	全国伝統的建造物 群保存地区協議会 会長(萩市長)	1944年(S19)萩市生まれ。京都大学経済学部卒業、大蔵省(現財務省)入省。主税局税制第2課長、国税庁調査査察部長歴任後、H5年萩市長就任。同時に全国伝統的建造物群保存地区協議会会長就任。H22年より全国中山間地域振興対策協議会会長。H23年より全国市長会相談役他歴任中。
		パネラー <small>なかむら ゆういちろう</small> 中村雄一郎	NPO法人 肥前浜 宿 水とまちなみの 会 事務局長	1949年(S24)佐賀県生まれ。日本大学文理学部社会学科卒、家業を継ぐためS49年地元へ帰り、青年会議所、PTA活動を行う。H元年21世紀浜んもん会を設立し地域活性化に取り組んだ後、まちなみ保存活動を始め今日に至る。市議会議員を4期務め、現在、鹿島市観光協会会長。
		パネラー <small>なかしま たかゆき</small> 中島 孝行	NPO法人 八女町 並みデザイン研究 会 理事長	1958年(S33)福岡県生まれ。中央工学校建築設計科卒、中島孝行アトリエ主宰、久留米工業大学非常勤講師、作事組全国協議会 副会長、まちづくり団体「八女ふるさと塾」の代表世話人。八女福島の空き町家を借り事務所兼住居を拠点に伝統建築の技術継承を含め様々なまちづくり活動を展開中。
		パネラー <small>なりた まさとし</small> 成田 雅俊	篠山市教育委員会 社会教育・文化財 課 主査	1975年(S50)兵庫県生まれ。奈良大学文学部文化財学科(考古学専攻)卒業。現在、篠山市教育委員会社会教育・文化財課主査。篠山伝建地区の事業、歴史文化基本構想の策定、史跡篠山城跡保存管理計画の見直しなどを担当。

西 山  徳 明	文化継承者である住民が住み続けて保存・保存する建造物群からなる日本の歴史的な集落や町並みは、世界に誇る類のない「リビングヘリテージ」です。しかし生きている故にそれら遺産は変容も激しく、治療(修理)を誤れば命を絶つことにもなりかねません。敷地が語る言葉、建物が語る言葉に耳を傾けてそれらが望む治療方法を見出すには、居住者、設計者、施工者、行政、研究者などそれぞれが丁寧に根気強く事業に取り組んでいかねばなりません。その答は決して一つではなく、最善の努力と工夫の上に最良の結果が見つかるはず。それがまさに生きた遺産(リビングヘリテージ)にまた新たな命を吹き込みます。先達たちのそうした素晴らしく多様な努力の足跡を皆で学びたいと思います。
----------------------	--

コメント・意見	野村 興兒	<p>○町並み保存の基本は、歴史的町並みに住む人が、その価値を知ると同時に誇りを持ち、地区外の皆さんに見てほしいと思うこと、町並み保存を活かしたまち興し、観光振興を目指すことである。そして、住民の気持ちと活動を行政が後押しし、建築技術・技能者の支援も得ることである。つまり、歴史的町並みが存在した時に、住民がまず守りたいと思ひ、行政が後押しし、建築技術・技能者も一緒になることで、伝統的建造物群保存地区による町並み保存は開始される。</p> <p>しかし、「継承」となると様々な課題が出てくる。高齢化、空家、伝統技術の継承、保存意識の啓発、一般公開や地区内ガイド・特産品販売・飲食サービス等の観光活用の成否である。</p> <p>○保存継承に最も効果があるのは、歴史的町並みに全国のお客さんに来て頂いて、江戸期や明治期の建物に入ってもらい、コーヒー、抹茶やお菓子で寛いでいただき、お土産を買って楽しんでいただくことである。さらに、地区をガイドしてもらえれば、心に残り、伝統のある建築物、即ち、伝統的建造物群保存地区の価値が全国に浸透していき、歴史的町並みの保存継承につながっていく。</p> <p>○萩市の場合は、萩市の至る所に史跡や歴史的町並み、文化財、伝統芸能が残ることから、「萩まちじゅう博物館」という萩市全体を屋根のない博物館と見立てた、歴史的資産の保存と活用のまちづくりを平成16年度から行っており、このように伝統的建造物群保存地区だけでなく、その地区以外でも伝統的な建物の保存、継承を行い、伝統的建築技術の育成・継承を進めていくことが大切なのである。</p>
	中村 雄一郎	<p>H元年にまちづくり団体が発足し、地域活性化のためにと酒蔵コンサートがスタート。江戸時代長崎街道多良往還として酒造業を中心に栄えていた当時の殷賑を取り戻せたらという想い願望が、H18年浜中町八本木宿と浜庄津町浜金屋町の二地区選定で実った。H11年の調査報告書完成から7年、その間の紆余曲折は、国道や河川の改修事業とのせめぎ合いでもあった。その危機を救ったのが行政との連携と篤志家による寄付によるクド造り武家屋敷修復、そして住民の熱意だった。ゼロから今では7万人の観光客に訪れていただくようになったが、当時の中心的なメンバーの高齢化や空き家対策などの諸課題が山積している。「浜宿独自の歴史と生活文化に溢れる活力あるまち」を目指すために、今やるべき事を模索すべく先進地に学びたい。</p>
	中島 孝行	<p>八女市には八女福島及び黒木の2地区の伝建地区があり、NPO八女町並みデザイン研究会ではその2地区の保存会、まちづくり団体及び行政と連携しながら、修理・修景事業の技術面での役割を担っています。主な活動としては建造物の調査・研究、事業等の相談、伝統技術の研修、小学生への伝統工法体験学習、保存修理及び修景の設計と施工等を行っています。今後も伝統構法の技術を習得し、建造物の痕跡・履歴調査の充実を計り、文化財としてより正確な修理を目指すと共に失われつつある伝統の技を再生し、次代に継承する仕組みや職人の育成も急がれます。その取り組みについて報告いたします。</p>
	成田 雅俊	<p>篠山地区のまちづくり活動は、篠山まちなみ保存会と行政、専門家の3者が連携をとりながら進めています。保存会では毎月一回定例役員会を開催し、地区内の諸問題について、熱い議論を交わします。当初は、修理・修景する建物をどこにするかが議論の中心になっていましたが、最近はまだ修理・修景事業を行うだけでなく、町を元気にさせるための方策を考えよう、何かイベントを行おうという意見が多く出るようになり、篠山の町を大切に思う多くの方々の支援、実行力によって、整備されてきた町並みを活かして、町を活性化させようという取り組みが行われるようになりました。今回はそういった篠山での取り組みについて報告いたします。</p>

当日スケジュール	15:40～	開場
	～16:00	参加者へ質問用紙配布
	16:00～16:02	開会あいさつ : 司会(八女実行委員会)
	16:02～16:20	コーディネーターのガイダンス(コメンテーター、パネラーの紹介含む)
	16:20～	「活動報告」(1名15分程度)
	～17:10	コメンテーターのコメント
		参加者から質問用紙の回収
	17:10～17:30	コーディネーター・パネラーによる質問への応答
	17:30～17:40	コメンテーター、各パネラーの総括的発言
	17:40～17:50	コーディネーターのまとめ
17:50	閉会あいさつ : 司会	